63 Seigan-ji Temple Edo Period Shiga Pref. Maibara City Tel:0749－52－0463

沿革 1360 年頃、近江守護職の佐々木道誉が祈願所として開設。1504 年兵火で焼失。1650 年復興。庭はこの時築造された。ところが 1677 年彦根藩主4代井伊直興が下屋敷の玄宮園と楽々園を造営するために、当寺の庭石を全部運び出してしまった。その後翌年当寺の興欣和尚が井伊家家臣の香取某に命じて、改めて当庭園を作らせた。

庭園 作庭にあたって興欣和尚が意図したところは観音菩薩の住まわれている補陀落山の世界の出現にあったといわれ、そのために36個の要石は全て仏名をつけた。

築山上の三尊の脇石は後方に控えて組んであり、来迎な組み方である。三尊石組下の滝は不動尊を表している。

中島は鶴亀蓬莱を兼ねている。その奥には不動の滝、最上部に三尊石組。庭は鋭い形の石で覆いつくされ、見るものに緊張を強いるが、池泉部は苔が植えられ柔らかな印象となる。

不動の滝左下の護岸石組は手前の鶴亀蓬莱島の陰になり、書院からは見えないが、剛健な石組だ。

三尊石組と不動尊枯滝石組の凄まじい迫力に圧倒される。

山畔に組まれた石組みであるが、最深部の三尊石組みは、「盛土」をして立体感を得る地割である。